

一般質問



やすらぎとふれあい（教育編）

須田 勝 議員

南雲小学校閉校後の利活用

質問 一世紀半にわたる歴史に幕を閉じ、平成29年3月末で閉校、地元市民からの公募で検討委員会を早期に立ち上げ。地域住民の要望を100%聞き入れるか。

教育部長 南雲小学校地区の自治会長を通して、地元の意見や要望を聴きたいと考えています。用途が教育分野以外に及ぶ場合は、全庁的な観点から検討をします。



統合される南雲小学校

重に検討するべきものと考えます。

学校給食費完全無料化

質問 払えない、払わない給食費、債権放棄の状況と内容は。苦しくても払っている、払わない保護者、不公平感をなくすため、渋川市の人口問題や子育て支援の目玉になるためにも、完全無料化を。

教育部長

市町村合併後からこれまで約536万円の債権を放棄し、内容は生活困窮や転出等所在不明です。さらに保護者の負担軽減を図りたいが、総合的な財源調整を図る中で検討していきたい。

赤城地区学校再編統合

質問 全くと言つていよいほど意味のない統合が平成29年4月から南雲小と津久田小が、さらに刀川小と三原田小が統合されるが、子ども（児童）の激減により、4校を1校の再編統合を。また南・北中学校の再編統合を急げ。

教育部長 各2校の統合を進めており、4校を1校にする考えはありません。中学校は検討委員会の委員を選出していただき進めます。



市の防災対策は

星野 安久 議員

自然災害への対応は万全か

質問 ひとり暮らしの高齢者や障がい者など要配慮者の避難誘導はどうのうにするのか。防災無線が聞きにくい地域への対応は。災害用備蓄品の保管は。被災者救護時の協力体制はできているか。

総務部長

要配慮者の避難支援策として、災害時避難行動要支援者名簿の作成に取り組んでいます。

防災無線が聞きにくい場合は、電話自動応答サービス回②112の利用をお願いしています。

災害用備蓄品は、各行政センターや公民館に保管しています。

災害時の救護活動については、医師会等との協定により、支援を受けることが可能です。

避難場所の安全性は

質問 体育館など指定された避難場所は果たして安全か。いざというとき機能を果たすのか。

総務部長 避難所は基本的に安全ですが、災害の種類によって使用できない場合もあるため、ハザードマップ等で周知しています。



カスリーン台風の碑（赤城町）

災害時に役立つ訓練を

質問 今、学校ではどのような形の避難訓練を行っているか。

教育部長 学校では、学校安全計画を策定し、この計画のもとに、火災、地震、不審者対応等を想定し避難訓練を行っています。

質問 組織体制の充実と活動指導の考え方。

総務部長 各地域での防災意識の啓発と醸成のため、引き続き防災講座や防災訓練への支援を継続していくきます。

一般質問



最悪に備えて、最善を尽くす

安力川
信之
議員

防災・減災は平時が大事

質問 業務継続計画や被災者支援システムなど平時に訓練しておくことが肝要。災害時に犠牲者を一人も出さないようにするため、本市の防災対策は。

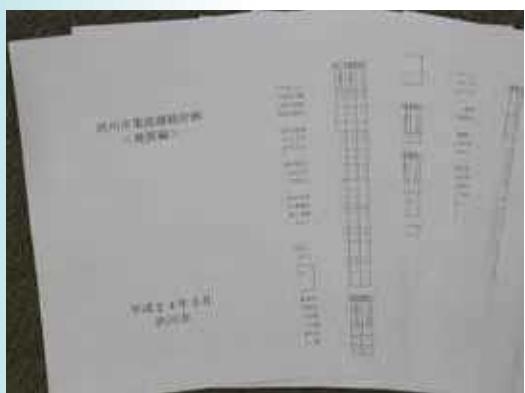
総務部長 業務継続計画の周知徹底を図ると共に、職員を対象とした災害訓練等において被災者支援システム操作の研修を行います。

市長 備蓄品整備や耐震補強は加え、各地域の防災訓練、講話によつて市民の意識・知識を向上させ命を守る防災対策を進めます。

公会計改革で、財政の見える化を質問 統一的な基準による公会計になる。予算編成への活用が期待され、固定資産台帳整備により、

総務部長 平成28年度決算から、
統一的な基準による財務書類等を
作成・公表します。

この改革を行財政改革の好機として捉え、財政指標の設定や適切な資産管理、施設別等の管理コス



県内初の業務継続計画

ト分析などを行い、予算編成や行政評価への活用を図ります。また公共施設等総合管理計画と連動させ、更新費用を将来推計するなど施設の統廃合等の判断材料として活用します。

質問 企業版ふるさと納税がはじまる。多くの方に渋川市を応援してもらえるような政策を充実させ

企画部長 企業に応援いただける
よう、地域再生計画の策定にあた
つては、全局的な取り組みで臨み
たいと考えます。

卷之三

画計継続統計

生花園研究会
第2回講演會

質問 現在の農業は後継者不足から高齢従事者が経営の中心であり危機的状況にある。今後、農業振興をどう進めるのか。

域の潜在力を活用した特色ある生産活動を支援していきます。

農政部長 担い手の高齢化が進む中、農作業時の事故防止を徹底していく。耕作放棄地リフレッシュ促進事業による農地の再生作業を、支援していきます。

建設部長 各路線の危険度から、
全面改修及び部分改修を含め検討
していきたいと考えています。

建設部長 関東ふれあいの道は、引き続き総合計画に登載し、優先度を見ながら、事業実施について精査していきます。

質問 子どもたちに学校教育の中で森と緑、自然環境の維持管理と保全を理解させる計画は。

教育部長 学校教育では、環境に対する豊かな感受性、環境に関する見方や考え方、環境にはたらきかける実践力等の育成を目指して環境教育の充実を図っています。

A photograph showing a red tractor and several workers in a field, likely harvesting fruit. Two large wooden crates filled with fruit are in the foreground.

こんなや

建設部長 関東ふれあいの道は、引き続き総合計画に登載し、優先度を見ながら、事業実施について精査していきます。



ついにやく作業風景



農業振興、道路整備、森林環境 保全について

山崎 雄平 議員